

基本理念

目的（存在理由）

社会への貢献

わたしたちは
社会に役立ち、人々の心や暮らしを豊かにし、
よって社会に貢献することを目的とします。

基本的価値観（不変の主義）

1 開拓の精神

わたしたちは、失敗を恐れず、情熱を持って、
未開の地（新しい分野）に挑戦することを誇りとします。

2 不断の努力

わたしたちは、弛みない努力によって、
困難に打ち勝ち、目的の実現に至ることを喜びとします。

3 誠実な意志

わたしたちは、わたしたちを支える人々^{*}に対し、
揺らぐことのない誠実な意志によって行動します。

※「わたしたちを支える人々」とはステークホルダー
（お客様、サプライヤー、株主・投資家、従業員とその家族など）を指します。

10年ビジョン（2008年4月～2018年3月）

技術力と収益力において

世界一のモバイルスペースメーカーになり、
資源循環型ビジネスにより社会へ貢献する。

株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに第47期（平成27年4月1日～平成28年3月31日）
報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度（当期）における日本経済は、政府による
積極的な経済政策や金融政策などを背景として、企業収益
や雇用情勢の改善が進み、景気は緩やかな回復基調が続い
ております。

一方で、中国及び新興国の経済の下振れ懸念や原油価格
の大幅な下落など、今後の経済情勢は注視すべき状況が続
いております。

ユニットハウス業界におきましては、民間設備投資が堅
調に推移したことで、需要の高い状態が継続している一方

で、建設労働者の不足が顕在化しており、先行きは楽観視
できない状況となっております。当社のユニットハウス
は、工場内で製品の大部分を製造可能なことから、現在社
会問題化している建設労働者不足の解消に貢献できると考
えております。

このような情勢の中、当社グループは、物流拠点の整備
出荷体制の強化を進め、需要増加に対応できる体制を整え
ております。また、展示販売場やトランクルーム等の販売
ネットワーク拡充についても、計画に沿って継続的に取り
組んでおります。

「必要なとき、必要なだけ、必要な空間を提供する」こ
とにより、当社のユニットハウスは従来の仮設建築市場のみ
ならず、本建築市場、不動産市場にまでその優位性を十分
に発揮できるものと確信しております。“建築の工業化”と
いう当社のコア技術をさらに高めていくことにより、新た
な市場の開拓を図っていく所存です。

今後も創業当時から受け継がれてきたフロンテアスピ
リッツ（開拓の精神）を原点に、社会に貢献する会社を目指
し、情熱を持って活動してまいります。

当期の業績について

ユニットハウスのレンタルにおきましては、民間の設備
投資が前年に引き続き好調を維持しているため、稼働棟数
は前年を上回る高水準となりました。また、デザイン性や
機能性をさらに高めることで、大型物件の受注獲得に努め
ました。トランクルームにおいても、新たに65店舗出店す
るなど売上拡充を図りました。

ユニットハウスの販売におきましては、展示場を新たに
11店舗出店することにより販売チャネルの拡充に努めま

した。また、旺盛な本建築需要に対応するため、全国的に
設計・施工協力会社のネットワーク拡充に努め、店舗・一般
事務所といった本建築物件をさらに強化することで、より
一層の収益の拡大に努めてまいりました。

上記の結果、当期の連結売上高は31,803百万円（前年
同期比6.6%増）となりました。

利益面においては、全社的にコストダウン活動を推進し
たことにより、営業利益4,184百万円（前年同期比8.2%
増）、経常利益4,205百万円（前年同期比10.9%増）、親
会社株主に帰属する当期純利益2,567百万円（前年同期比
12.9%増）になりました。

今後とも、リユース可能なユニットハウスの特長を活か
し、期間限定で空間を必要とするニーズを開拓し、業績の
拡大に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指
導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成28年6月
代表取締役社長 **長妻貴嗣**